

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市栗生児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 23,363人(前年度比 113.6%) 令和4年度 20,559人 令和3年度 22,483人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 44,362千円 (41,198千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した丁寧な育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「笑顔あふれる児童館」「地域とつながる児童館」を目標として掲げ、地域の皆様の協力の下事業に取り組んできました。</p> <p>未就学児の子育て支援の事業として0～1歳児親子を対象とした「ほっぺちゃんクラブ」では、ふれあい遊びや写真講座「ママはカメラマン」「おんぶっぱの音楽遊び」など、地域の方々に講師を迎え、親子が笑顔で交流する事業を実施しました。2～3歳児親子を対象とした幼児クラブでは近くの公園でシャボン玉遊びをしたり、遊戯室いっぱい大きな紙を広げ、皆で干支の辰を描いたり、笑顔で伸び伸びと活動する子どもたちの姿が見られました。これらの事業を通じて、乳幼児のあそび場としての児童館の認知度が高まり、乳幼児親子の自由来館が増えてきました。</p> <p>「くりさんとグランドゴルフ」では地域の老人クラブの皆さんを講師に、一緒にグランドゴルフをすることで子どもたちは楽しく交流することができました。落合・栗生地区社会福祉協議会、落合市民センターの協力を得て実施した「いこいの家訪問」では、地域の高齢者の方々に演奏を聞いていただいたり、輪投げゲームで互いに応援し合ったりするなど世代を超えて楽しく交流することができました。宮城地区社会福祉協議会の提案から実施した「子どもも大人もみんなのしゃべり場」では名刺交換ゲームで交流した後、子どもたちがやってみようことなどを地域の方々に聞いてもらいました。世代間で交流し、次年度のイベントに繋がる機会となりました。</p> <p>落合市民センターが中心となり、広瀬マイスクール児童館、愛子児童館と連携して開催した「親子であそぼ！」「ちびっこうんどうかい」、栗生小学校の協力を得て体育館を借りプロの選手を講師に実施した「フットサルをしよう」など、子どもたちに楽しく体を動かす機会を数多く提供することができました。</p> <p>今後も地域とのつながりを大切に、地域の児童館としての役割を果たしていきます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、子育て支援クラブと共催して地域の歴史研修会を講師を迎えた「歴史たんけん隊」、老人クラブやジュニアリーダーOBと関わって楽しむ「お正月あそび」を実施し、多くの児童が参加している。地域の方々と交流を深め、子ども達が地域と密接に関わりながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、親子の触れ合いや保護者同士の交流を図る「ほっぺちゃんクラブ」の対象年齢枠を外したり、職員による手遊びや読み聞かせなどを行う「キッズルーム」を自由来館の時間に定期的に開催した。乳幼児親子が利用しやすい環境作りを行ったり、様々な趣向を凝らしたプログラムを提供したことにより、参加者の増加につながっている。</p> <p>地域交流推進事業においては、市民センターや近隣の児童館等、地域の子育て支援の諸団体と連携して「親子であそぼ」や移動児童館を実施し、地域全体で子どもの育ちを支える環境作りに努めている。また、地域の老人クラブとのグランドゴルフや「いこいの家訪問」などを実施し、多世代交流を通して児童の社会性や自主性を育てている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、七夕飾り作りを1週間設定して多くの児童が参加できるように工夫したり、日常の遊びや行事などで子どもの意見を反映する機会を設けるなど、様々な発達の過程にある子どもが、それぞれ主体的な遊びや生活が可能となるように工夫している。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課